

# OZU DISCOVERY CORNER

©IR(国際交流員) マシュー・サイバート Wew!

Vol.01 OZU DRUM

国際交流員マシュー・サイバートと大津町の人々との交流を通して、いろいろな町の魅力を発見していくコーナーです！初回となる今月は、大津太鼓の魅力体験レポート！数々の賞を授賞している大津太鼓 清流会 打頭 高見大志さんに突撃取材しました。



大津太鼓清流会 打頭 高見大志さん(引水)

太鼓歴27年、全国大津太鼓コンテストで8回優勝。今年結成29年目を迎える大津太鼓 清流会の打頭を務める。日々曲作りと練習に励み、さまざまなイベントで大津太鼓の演奏を披露しています。



1打ち方の基礎を教わります 2気合充分！3抱えて打つ太鼓に挑戦 4息のあった庄巻のパフォーマンス 5最後はコラボ

## ひとこと質問コーナー



太鼓を打つときに皆さんが大きな声を出すのはなぜですか？

声出すことで気合いが入るだけでなく、観客に気迫も伝わります。演奏のリズムをとる意味もあります。声を出すのと出さないのでは大違いです！



腰を落として太鼓を打ち続けるのは大変で、1分もたたないうちに汗だく、腕もパンパンでした。皆さんは何分も続けていてすごいです。体中に響く迫力のあるサウンドは感動的でした。大津太鼓は表現力で魅せる芸術的なパフォーマンスですね！



## 学校での取り組みなどをご紹介 毎月14日は大津町教育の日

●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

### ジュニアリーダー夢議会

平成27年度まで開催していた「中学生議会」が、高校生を含む、幅広い世代を取り込んで「ジュニアリーダー夢議会」として平成29年度に生まれ変わりました。次代を担う若者のリーダーとして、自分たちが夢を持つまちづくりとは何か、調べ、考え、町長や教育長に教育・安全・福祉など、町政に関する質問、提案やパネルディスカッションをします。町内の各中学校・高校から選出された10人の生徒が、

議長、副議長、議員として、事前学習会や議会傍聴を経て、本番に臨みます。フレッシュな発想と熱意ある答弁を、ぜひ見に来てください。

●日時 10月3日(水) 午後1時30分～午後3時45分  
●場所 大津中学校 体育館  
●主催 大津町、大津町教育委員会  
●共催 大津町議会

### 各学校の取り組みを紹介 マイクロレポート



大津小  
麦刈り体験をしました。昨年の12月に種をまいて、育った麦を丁寧に刈りました。



美咲野小  
花だんを利用した小さな田んぼに田植えをして、農業の大変さを学びました。



大津南小  
地域の皆さんの協力で茶道や囲碁を教えるというクラブを作りました。



大津北小  
からいもの苗植えを体験しました。秋が楽しみです。

## 輝く人権

連載「人権シリーズ」

●問い合わせ  
役場人権推進課 人権推進係  
☎096(293)7920



大津町人権教育推進員 野口久子さん

平成26年4月より役場人権推進課で人権教育推進員をしています。今回は5月12日から13日まで和歌山県で開催された「第63回全国女性集会」、5月15日から16日まで、鹿児島県で開催された「人権社会確立第38回全九州研究会」に参加したので報告します。

第63回全国女性集会  
全国27都府県から1,000人近くの参加がありました。開会行事では全国水平社(現在の部落解放同盟)の宣言朗読があり、今まで活動を頑張ってきた先輩たち、保護者、女性部、各学校で一生懸命取り組んでいる子どもたち

ちの姿を思い出し感動しました。私は第1分科会の部落解放運動入門で司会として参加しました。レポート報告後の意見では、1人の男性が泣きながら結婚差別を受け苦しかったことを告白され、私自身と重なり、感想や激励に胸が熱くなりました。

■人権社会確立第38回全九州研究会  
第8分科会の部落問題入門基礎講座では、結婚差別についてレポート報告をしました。会場では町から参加した皆さんが、最前列に座って目の前で見守ってくださり、感謝の気持ちでいっぱいでした。

私が自身の結婚差別、2人の息子たちの結婚、今まで頑張ってきた解放学習で苦しかったことなどを語ると、いろんな思いが溢れ出して、涙が止まりませんでした。参加した人の感想では、泣きながら「こんなつらい思いはさせたいかん」と、地元に戻って啓発していく事を話してくださいました。

私にとって今回の和歌山での司会と、鹿児島でのレポート報告は、沢山の人が支えられたおかげで無事に終える事ができ、感謝に堪えません。今回の経験で学ばせていただいた多くのことをたくさんの人に伝え、これからも人権教育推進員として頑張っていきたいと思えます。

## きらめく男女

連載「人権シリーズ企画④」

●問い合わせ  
役場人権推進課 男女共同参画推進係  
☎096(293)7920



大津町男女共同参画審議会 委員 尾田一広さん

社会福祉協議会(通称「社協」)で働かせていただき、早いもので34年が経ちました。これまで町民の皆さんをはじめ、多くの人たちのご支援ご協力により充実した日々を過ごすことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、皆さんは、「福祉」という言葉にどのようなイメージを持っていますか。高齢者、障害がある人や生活に困窮した人などを対象にした、何か特別なことのように思う人もいるかもしれませんが、漢字の「福祉」、英語で福祉に当たる「WELFARE」、どちらも「幸せ」を意味します。つまり、「福祉」とは人の「幸せ」のこと、何も特別なことではなく、すべての人に関わるものなのです。

「幸せ」は、人それぞれの境遇、価値観、年齢、歴史などによって答えが

違うものであり、そもそも、幸せかどうかは、その人自身の問題で、他人が判断するものではありません。男女性別に関係なく、人がその人らしく幸せを求めるのは人の権利であり、公共の福祉に反しない限り、尊重されなければならぬことです。自分や他人の「幸せ」の違いを認め合い、尊重しながら、自分なりの「幸せ」の答えを持つことが、皆さんにとっての「福祉」につながるのではないかと思います。

しかし、時にはその「幸せ」を求める権利を、さまざまな理由により自分で保持したり、使ったり、主張したりすることが難しい人がいます。その時は、相手の立場に立って一緒に考えること、すなわち、お互いに助け合うこと、支え合うことが、相手に対する「福祉」につながるのではないかと思います。そのような人権尊重の上に立った、相互扶助こそが、「福祉」の根源ではないかと私は考えています。

第1回大津町男女共同参画川柳コンテスト

入選  
フルタイム 家事は分業 ハートフル  
垣田 彩さん

